

(報告様式第3号)

改善計画書

事業者名 (特別養護老人ホームわにか荘)

(2024年3月14日 作成)

改善に向けた事業者のコメント	今回の評価を真摯に受け止め、計画的に改善できるように進めていきます。令和5年度まではコロナ禍もあり、感染予防対策で思いうような活動が出来ていなかったこともありましたが、コロナも5類に移行したことも踏まえ、感染対策を継続したうえで、地域の福祉施設として情報を発信しながら、より透明性の高い良質な福祉サービスが提供できるように取り組んでまいります。							
短中長期	No	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で出来ること	1	事業計画書の主な内容を入居者様、ご家族へ説明する工夫が必要である。	入居者様、家族様へ対して施設の事業計画を周知する機会を作り透明性のある運営を目指します。	3ヵ月間	2024年5月	2024年7月	①年間事業計画をまとめた文書をご家族へ郵送する。 ②施設の掲示板に掲載する。	総務課長
中・長期間でできること	1	ご利用者と地域が交わる環境が不十分である。地域に向けた情報発信ができていない。	地域へ施設の取り組み等の情報発信を行い、地域との交流を図ります。	1年間	2024年5月	2025年5月	①地域のイベントや田野地区地域包括ケアシステム推進会の活動に参加し、地域住民に対して施設の役割と機能について話をする。 ②行政や包括支援センターに施設のパンフレットを置く。	地域支援課長 総務課長 生活相談員
	2	入居者様が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べるよう配慮が必要である。また相談援助のマニュアルがな	入居者様が相談しやすいように、手順書を作成し、意見が述べやすい環境を整えます。	6か月	2024年6月	2024年12月	①施設の掲示板に職員名簿を掲示し、担当職員や、職種がわかりやすいようにする。	生活相談員

		い。						
	3	事業所としての必要な社会資源を明確にし、入居者様と地域のとの交流を推進していく必要性がある。	地域の社会資源を明確にするとともに、入居者様、地域へ情報を発信します。	1年間	2024年5月	2024年5月	①田野地区にある公共機関や、事業所等が記載されたマップを作成し、掲示する。 ②田野地区にある公共機関、事業所等の一覧表を作成する。	地域支援課長 総務課長 生活相談員
今後検討すること	1	財務面での裏付けも不可欠であることから中・長期の収支計画作成を期待します	資金計画書が作成できるように検討していきます。					本部事務局
	2	人事考課にリンクした形で、個人の目標管理の仕組みが構築されることを期待します。	人事考課管理制度の導入を検討します。					本部事務局